ことば便り



墨田区立押上小学校
校長　影山　祥仁
ことばの教室　NO.７
TEL 03-3617-6925
令和８年１１月２日(月)

秋も深まり、学習に集中しやすい季節となりました。子供たちは日々の活動の中で、できるようになったことを積み重ねながら、自信を育んでいます。ことばの教室でも、それぞれのよさを大切にしながら、一人一人に応じた支援を続けていきます。

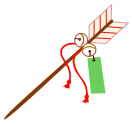


11・12月の行事予定

11月

10日(火)都難言協江東ブロック研究会(午後)▲
11日(水)グループ指導(言語)(15:30～16:30)
13日(金)専門家診断(午後)▲
18日(水)グループ指導(吃音)(15:00～16:15)
24日(火)通級指導学級研究会(午後)▲





★:全日指導なし
△:午前の指導なし
▲:午後の指導なし

12月

1日(火)都難言協江東ブロック研究会(午後)▲
5日(土)押上小学校　展覧会★
7日(月)展覧会　振替休業日★
14日(月)個別指導終了日
16日(水)交流会　(14:50～16:30)
17日(木)～24日(木)まで保護者面談期間





26日(土)～1月7日(木)冬季休業日
1月8日(金)午後から個別指導開始

交流会を準備中です！　参加の予定をお願いします！

日時　　１２月１６日（水）　受付開始１４：５０　１５：１０～１６：３０
場所　　押上小学校（体育館）
持ち物　上履き（保護者の方もご準備ください）、水筒、動きやすい服装

楽しい会になるよう準備をしていますのでお楽しみに！保護者の方も交え、全員で楽しめるゲームを企画しております。ご参加をお待ちしております。

ご協力をお願いします！

交流会のゲームで使用する牛乳パックを集めています。ご家庭で出た1000mlの牛乳パックをご提供いただけますと幸いです。よく洗って乾かしたうえで、通級の際にお子さんに持たせてください。切り開いた状態でも、箱のままでもかまいません。使用後はリサイクルに出します。ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者会（講演会）「読み書きが苦手な子の理解と支援」

10月2日の保護者会（講演会）では、発達性読み書き障害（ディスレクシア）の当事者であり、言語聴覚士として活躍されている関口裕昭先生をお招きし、ご講演いただきました。読み書きの困難さについて学ぶだけでなく、子供が自信を失わず、自分らしく成長していくために、大人がどのように支えていけばよいのかを考えるよい機会となりました。

◆　先生のお話から

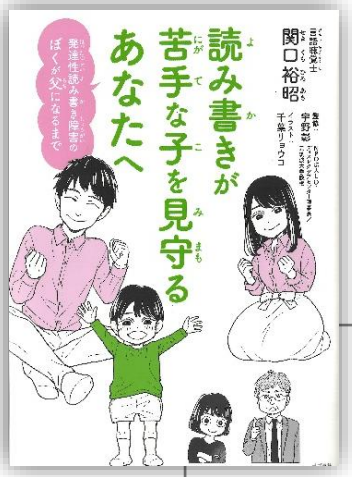


・　学びの機会を保障する

読むことや書くことが苦手でも、「知ること」「学ぶこと」「物語を楽しむこと」まで諦める必要はありません。さまざまなツールを活用して、多くのことを学べます。大切なのは「文字が苦手だから学べない」ではなく、「その子に合った方法で学ぶ」ことです。

・　子供の特性を理解する

得意なことだけでなく苦手なことも理解することで、何に困っているのか、どのような助けが必要なのかを伝えられるようになります。まずは保護者が子供の特性を理解し、それを周りに伝える姿を見せることも大切です。



◆　担当者の感想

関口先生ご自身も、すぐに自分の特性を受け入れられたわけではなかったそうです。「みんなと同じようにできるようになりたいという思いを抱くのは自然なことです。大人が答えを決めるのではなく、いつでも支援できる準備をしながら待ち、最後は本人が選ぶ。その積み重ねが自分で考えて歩んでいく力につながっていく。」というお話が印象的でした。

関口先生のご著書

『読み書きが苦手な子を見守るあなたへ
～発達性読み書き障害のぼくが父になるまで～』（ポプラ社）
読み書きの困難さを抱えながら成長し、父になるまでの歩みがつづられています。

◆　保護者の皆様の感想

・　聞きたかった話が多く、必死に頭に入れていました。情報量が多く、感謝しています。
・　本日はとても新しい風を感じました。
・　とても参考になり、今後の見通しを少しもつことができました。
・　発達性ディスレクシアだけでなく、他の特性のある子への接し方にも応用できると感じました。

この紙面でお伝えできたのは、講演内容の一部です。関口先生がご自身の言葉で語ってくださった大人になるまでの歩みや、保護者の皆様から事前にいただいた質問へのお答えなど、会場で直接お話を伺ったからこそ得られた学びがたくさんありました。来年度もこのような機会を設け、子供たちの成長を支えるヒントを、保護者の皆様と一緒に考えていく時間にしたいと考えています。ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。